

やまぐち魅力向上プラン

～15の提言～



令和7年6月

—おいでませ 西の京 山口へ—
山口商工会議所

はじめに

日本全体が「人口減少」という大きな課題に直面しています。総人口は今後、毎年100万人規模で減少し、40年後には8000万人を割り込むと予測されています。では、私たちの山口市はどうなるのでしょうか。人口減少が進めば、今ある学校や病院、商店は40年後も同じように存続しているのでしょうか？免許返納後の移動手段に不安はないのでしょうか？このように、人口減少は地域経済や日常生活に大きな影響を及ぼす、避けて通れない重要な課題です。

この課題を乗り越えるためには、「街中居住の推進」と「地域の魅力づくり」が鍵となります。山口市には、豊かな自然、歴史的文化、そして住み良さという強みがあります。これらを最大限に活用し、域外からの定住促進や新たな人材の流入を図ることで、地域資源を基盤とした持続可能な街づくりを目指さなければなりません。

加えて、安心・安全な生活環境を確保するための対策も不可欠です。この課題に取り組む上で欠かせないのが「公共交通の活用」です。市街地を効率よく移動できる公共交通は、高齢化社会において欠かせない社会インフラです。しかし、現在は利用者の減少や運営コストの増加により、事業継続が厳しい状況に直面しています。抜本的な改革と市民の協力が求められています。

そこで注目すべきなのが「コンパクトシティ」という都市モデルです。これは、住宅や公共交通、商業施設、公共施設など生活に必要な機能をコンパクトに集約し、徒歩や公共交通で移動できる範囲に都市機能を集めることで、生活の利便性を高め、経済を活性化させるものです。この「街中居住」の推進を柱に、山口都市核や小郡都市核など市街地を中心とした都市機能の集約を進めることで、より効率的で持続可能な都市構造を目指します。こうした取り組みは、人口減少時代における地域発展の鍵となるでしょう。

山口商工会議所では、この度、山口市の未来を見据えた『やまぐち魅力向上プラン』を策定しました。本プランは、令和3年8月に策定した「山口市中心市街地未来都市構想」、令和4年2月の「新山口都市核未来都市構想」を基に、さらに「人口減少」と「公共交通」という喫緊の課題を加味した、持続可能な都市づくりを目指す更新版未来都市構想です。令和6年9月に山口商工会議所内に『やまぐち魅力向上プラン』検討チームを立ち上げ、課題解決型の提言として取りまとめを進めてきました。

山口市内全域における経済循環を活性化し、山口都市核と小郡都市核、さらには21の地域拠点を中心とする街中居住を推進することは、山口市全体の発展に大きく寄与するものであり、持続可能な社会の実現には欠かせません。人口減少時代を乗り越え、魅力あふれる山口市を次世代へ引き継ぐために、ぜひ本プランを活用いただければ幸いです。

40年後、あなたを支えてくれるのは誰でしょうか。「いつまでもあると思うな、親と公共交通。無いと思うな、未来と自然災害」——そんな思いを胸に、コンパクトで持続可能な街づくりを共に進めていきましょう。

令和7年6月

山口商工会議所 会頭 河野 康志



目次

はじめに	1
目次	2
やまぐち魅力向上プランとは	3
やまぐち魅力向上プラン提言マップ	5

01 山口都市核

ア 亀山周辺ゾーンの文化・教育機能の集積	7
イ 中心商店街の活性化	10
ウ 山口駅・駅周辺の環境整備、山口駅通りの修景整備	14
エ 早間田交差点の改良	17
オ 湯田温泉こんこんパークの利用促進	19

02 小郡都市核

ア 新山口駅周辺の駐車場対策	21
イ KDDI 維新ホールの利用促進	24
ウ 新山口駅を活用したにぎわい創出	27
エ 新山口駅北地区第一種市街地再開発事業完了後の市街地の再生	30

03 オール山口

ア 公共交通の活性化	32
イ 山口県農業試験場跡地利用	38
ウ 学都山口としての学びづくり	40
エ レノファ山口 FC の応援促進	42
オ 歴史文化遺産の活用	44
カ 若手経済人の活躍推進	46

資料編

●学生の市内回遊促進に係るアンケート調査	49
●新山口駅付近 駐車場調査	50
●公共交通に関するアンケート調査	52
●公共交通に関するアンケート追加調査	53
●モビリティマネジメント事業に係るアンケート調査（事前・事後・まとめ）	54

やまぐち魅力向上プランとは

山口商工会議所未来都市構想（30～50年後の山口市の未来の姿）

山口市中心市街地

・山口未来構想特別委員会において
議論・検討
(9事項32細目)



令和3年8月 山口市へ提言

新山口都市核

・新山口都市核づくり特別委員会に
おいて議論・検討
(6事項13細目)



令和4年2月 山口市へ提言



令和4年3月

山口市都市核づくりビジョンが策定される（～概ね20年間）
●山口都市核づくりの基本方向、取組例
●小郡都市核づくりの基本方向、取組例



令和6年1月「人口戦略会議の提言」
人口減少と歯止めのかからない少子化の流れ

公共交通の活性化・再生は、
地域の経済社会活動にとって
重要性が高まっている

コロナ禍を経て、
物価上昇、人手不足等の
社会経済情勢の急速な変化



山口商工会議所 やまぐち魅力向上プラン

●未来都市構想の提言例の中から、5～10年後を見据え、早期に取り組んでいただきたい課題（街中居住の推進と地域の魅力づくり）を改めて抽出・整理、追加事項も含め、課題解決型の提言として策定するもの

01 山口都市核

●コンパクトシティ推進委員会
において議論・検討（5事項）

02 小郡都市核

●新山口まちおこし委員会
において議論・検討（4事項）

03 オール山口

●両委員会等において
議論・検討（6事項）

〈各事項の構成〉

現状と課題の把握

会議所の役割（取り組む事業）

山口市へ政策提言

改善等意見の集約

提言・要望

- 既存事業の継続・ブラッシュアップ
- 事業着手（に向けた検討）の促進

令和7年6月 山口市へ提言（市・市議会へ行政要望）



公民連携による議論・検討

事業展開

